

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 4 回高土区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

地域活動支援事業について

(1) 採択結果・附帯意見の報告について（公開）

(2) 課題の洗い出しについて（公開）

3 開催日時

平成 29 年 7 月 5 日（水）午後 6 時から午後 6 時 40 分まで

4 開催場所

高土地区公民館 2 階 中会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委 員：青木正紘（副会長）、飯野憲静（会長）、飯野正美、小林トシ子、建入一夫
中嶋真一、樋口義昭、日向こずえ、細谷八重子、横川英男（欠席 2 人）

・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【田中主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【飯野会長】

- ・挨拶

【田中主事】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【飯野会長】

- ・会議録の確認：小林委員

議題「地域活動支援事業（1）採択結果・附帯意見の報告について」事務局に説明を
求める。

【田中主事】

- ・資料No.1 により説明

【飯野会長】

今の説明に質疑を求める。

（発言なし）

次に「地域活動支援事業（2）課題の洗い出しについて」フリートーク形式で意見
をお願いする。

【飯野正美委員】

キャンドルイベントについて、毎年盛り上がってきているが、来年や再来年は申請
金額が提案事業の中で一番大きくなると予想される。実行委員会は、これからをどう
考えているのかが心配である。前回の会議で花火は協賛金を募ったらよいのではない
かとあったように、団体が存続するためのあり方を協議会で検討した方がよいと思う。

【日向委員】

私は、地域協議会委員になって2年目である。提案事業はあまり変動がなく、新しい
提案事業が出てこない。来年も同じなのではないかと想像するが、雪まつりでこれ
だけの額が要望されると、新しい提案事業は入りにくいと思う。

今まで言わなかったが、実は雄志中学校の野球部の保護者である。先日、新しいベン
チがグラウンドに設置されて記念撮影等を行った。設置した日に、他校の遠征があ
り、皆さんからも凄いとの意見があった。高士区からは7人の部員がいるのだが、採
択が高士区だけされなかったらどうしようかと正直思っていた。諏訪区では満額採択
されていたが、諏訪区からの部員は1人もいないので、皆さん感謝されていた。

雪まつりに関しては、協議会でも考えていかなければいけないと思う。

【横川委員】

確かに高額で危惧される部分も分かるが、実行委員の話だと今回は川上善兵衛の150
周年だから盛大に行うということだった。平成29年度が頂上で、金額はだんだん下が
ってくるのではないかと感じている。「地域団体等との連携」といったような附帯意見

等もいろいろ出ているので、それはそれで考えるのではないかと思う。

【飯野会長】

今のキャンドルロードについてだが、市の観光振興課の参考意見としてもあるが、継続して行う事業となれば、「灯の回廊」の中に組み込んでいただくことができる。今回も一部に組み込んでいただいたので、キャンドルを提供してもらおう等できる。13区が行っているのと同様に市が組み込んでくればよいのかなと思う。13区の事業周知のやり方が分からないため、事務局に説明を求める。

【田中主事】

観光振興課で観光Naviというホームページがあり、高士ルミネを「灯の回廊」として、情報発信している。また、パンフレット等でも同様に紹介している。

「灯の回廊」は、それぞれの区で行っている事業で市の観光振興課が取りまとめている。合併前上越市の高士区がどのように入っていくかは、これから協議が必要だと思っている。

【山田センター長】

「灯の回廊」は市の観光振興課で調整しているイベントだが、高士ルミネは合併前上越市エリアで初めて組み込まれた。1つのイベントが区単位で広がることは、なかなかない。今回のキャンドルイベントは地域活性化において非常に大きな一歩になっている。事務局としても、今後も継続していった方が高士区の発展につながると期待している。ただ、予算的な問題や地域の連携等、課題の整理が必要だと思う。実行委員会だけに任せるのではなく、協議会委員や地域の皆さんからも協力していただけたらと思う。

【横川委員】

各区の行政の人たちは先頭に立って、スポーツ等も協力してくれている。だが、高士区では、行政の人が来て手伝ってくれることがあまりない。その辺をもっと行政関係とも密にしていかないと事務局の人間が苦勞すると思う。

【飯野会長】

私は13区と旧市内との話を常にするのだが、13区は総合事務所もあるし、合併後から行政が前面に出て、民間が後ろに付くかたちをとっている。旧市内は民間が前面に出て、あとから行政がくっついてくるかたちで、いろいろなことを行っている。7月2日に敬老会の70周年記念を行ったが、資金がないので行政から支援してもらって

いる。敬老会でも13区は市のバスを出しているが、以前、高士区では農協から借りたり、頸城バスを頼んだりしたが、数年前から市が送迎バスを手配するようになった。旧上越市は全てそのようなかたちで、民間が先に動いて行政の動きは後からになっている。

【横川委員】

確かにそうである。行政の人数を減らせと言いながら、もっと協力してほしいというのは、矛盾している話だとは思う。だが、もう少し行政の人は親身になっていただけるとありがたい。

【建入委員】

雪まつりだけではないが、地域を活性化する事業を立ち上げようとする人は、やる気とある意味の楽しみを見つけていらっしゃると思う。雪まつりについては、かなり負担になっていると思うので、可哀想である。行政もだが、せっかくやる気になってくれているリーダーがいるならば、金銭面もマンパワーでもサポートはしてあげべきだと思う。負担になって、簡単にやめることはできるが、せっかく気分が高まっているのならば、サポートする体制を考えてあげられないかなとは思う。

【横川委員】

地域協議会としても一応承認したわけなので、ある程度関わっていかねばいけない感じはする。

先日、高士地区体育協会のことで質問されたがきちんと答えていなかったもので、今話をしたいと思う。私どもスポーツ推進委員もそうだし体育協会もそうだが、ゲートボールやグランドゴルフをもう一度やってほしいという話を聞いたりする。しかし、スポーツ推進委員は、現存のスポーツクラブ等の競技に関しては手を出さないことにしている。それは、スポーツ推進委員が現存のクラブ活動に取り組んでしまうと活動に影響を与えてしまう。それと同時に現存のスポーツクラブは既にある程度行きわたっているスポーツを普及しているという考え方をしている。

地域活動支援事業で購入した備品は、グランドゴルフ、キンボールの2種類である。ラガーゲッター等は高士地区体育協会の資金で購入している。高士区でもゲートボール大会をもう一度開催してほしいとの要望もあるが、老人会がやっているのに体育協会が開催すると、老人会に影響を与えるので、行わないのである。我々としては、大勢の皆さんから参加できるスポーツは何がよいかを選んでいる。スポーツは流行りが

あり、ずっと続くようなスポーツは多分ないので、その都度、新しいスポーツを考えている。

【飯野正美委員】

20年くらい前には、人の家の玄関にゲートボールのクラブが置いてあった光景をよく見ていたが、最近はやっている人もあまり見ないし、そのクラブはどこにいったのかと思う。何年くらい前から下降気味になってきたのかと思う。

【飯野会長】

今は輪投げが流行っている。

【小林委員】

何人かはゲートボールをやっている。

【飯野会長】

高士区だけでチームが作れるのかは分からないがやっている。

【横川委員】

諏訪区の人からもゲートボールをやらないかと誘われるが、まだそんな歳ではないと断っている。

【飯野会長】

輪投げをしている人に聞くと競技性があるため、納屋の二階を片付けて夜中まで練習をしているそうだ。

【日向委員】

飯田は強いと聞いている。

【小林委員】

ゲートボールはある人が亡くなった時点から低迷してきた。

【飯野会長】

ゲートボールは団体だが、輪投げは個人競技でもありチームでもあるので、そこが違う。

【横川委員】

ゲートボールは、一時期は老人同士で喧嘩したり、争い合ったりすることが話題になったりしていた。そういう部分でも影響はしているのだと思うが、最終的にはイジメゲームだという評判が立ってしまったりしたので、どんどん衰退したのだろう。

【飯野正美委員】

ボールを使うのはイジメだという話もあった。

【小林委員】

テニスでも人のいないほうに打つのは、意地悪だという意見もある。

【飯野会長】

そういう意味では、輪投げは個人成績とチームの成績がきちんとなっているのでよいのだろう。

【小林委員】

高士区もグランドゴルフをもう少しきちんと宣伝して欲しい。

【横川委員】

それはそうである。

【小林委員】

来れば分かるという説明では分からない。皆さんが集まったときに説明をするなど、工夫してもらえれば、もう少し参加する人も多くなると思うし、誰でもできるスポーツだということも理解していただけるのではないか。

【横川委員】

この間、老人会にスマイルボーリングとカロリングの説明に私ともう一人で説明をしに行った。老人会は100人くらいの参加者がいる中で、説明をしてもなかなか理解していただけないので、まずやってみましょうということで、やりながら教えた。そういう部分では反省だ。

【小林委員】

キンボールは聞いたことがない。

【横川委員】

キンボールは1.2メートルのボールである。

【日向委員】

小学校の親子活動でも利用しているのだが、とても楽しい。落とすと負けなので、1人が打つのだが、落とさないようにチームで拾うのである。低く打つとすぐに落ちるので、落とさないように高く打つ等の工夫をするのである。

【横川委員】

4人1チームで3チームを作り、競技をする。

【青木副会長】

高齢化が進む中で、皆で楽しく 1 つのスポーツができれば理想的だと思う。その中で、ゲートボールにしてもキンボールにしても、参加したことがないので、どこが楽しく、どこが問題なのかも分からなくて言っているのだが、高士区でスポーツを勧めることができればよいと思う。高士地区体育協会は、色々なスポーツを紹介してくださるが、一般的なスポーツと同様に普及するのは難しいのかもしれないが、ある程度核になる人を育て、普及させる努力をもう少しした方がよいと思う人もいないか。

【横川委員】

一番良いのは、高士地区振興協議会の町内会長さんたちがやってくれることである。町内会で開催し、町内会長さんが集まるように話をすれば、行かなくてはいけないと思うので、人が集まって来る。高士地区体育協会としても、そのような取組をしていただきたいと思うので、町内会長さんたちをお願いしたいとは思っている。

【青木副会長】

そのために町内会長が経験して、面白いという芽が出てくればよい。

【横川委員】

牧区や清里区でも、老人会や商工会で年に何回か行ったりするので、顔なじみになったりしている。我々が出向く場合もあるし、団体から依頼があれば対応できる。

【飯野会長】

地域活動支援事業の洗い出しの話から、高士地区体育協会の話に流れてしまったが、時間もそろそろ終わりに近いので、終了させていただきたい。

その他で次回の会議の開催日を決定したいと思う。

— 日程調整 —

【横川委員】

急ぎの議題があれば 8 月に開催すればよいが、特になければ 9 月でもよいと思うがどうか。

【山田センター長】

年間計画では、高士区在住の市職員との意見交換があるが緊急ではない。皆さんで討議したい問題があれば取り上げていきたいと思う。

— 日程調整 —

・次回の協議会：8月30日（水）午後6時30分～ 高士地区公民館 中会議室

【飯野会長】

- ・ 会議の閉会を宣言

【青木副会長】

- ・ 閉会の挨拶

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線 1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。